

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月22日

項目	内容
事業者名	会社名：株式会社若林佛具製作所 代表者職名・氏名：代表取締役社長 若林智幸
補助事業テーマ	伝統的工芸品<京仏壇・京仏具>技術のアート作品への応用
事業実施期間	令和2年8月15日～令和3年2月28日
事業の目的	<p>(1) 伝統工芸である「京仏壇・京仏具」。技術の継承や高い技術水準を保つために、需要の拡大を目指します。京仏壇・京仏具の技術は、木工、漆工、金工と多岐に渡る職種が複合的に組み合わせることで様々な製品を生み出すことが可能です。また京仏壇・京仏具は、元々オーダーメイドによる受注が基本であったため、1点ものや少量生産を得意とします。この特性を活かせる、アート作品に技術の応用を行います。</p> <p>(2) 京仏壇・京仏具の技術を情報発信します。京都には数多くの伝統工芸が存在するものの、京仏壇・京仏具の職人技術は一般的に広く知られていません。また前述の通り、職種や扱える素材も幅広いがゆえに、理解しづらいという点も挙げられます。その多様さを説明するために、職人を紹介するだけでなく、実際に作品を用いながら、技術を広めていくことは不可欠と考えています。</p>
事業の実績（成果）	<p>(1) 2組のクリエイターを協業パートナーに迎え、作品製作 / 試作品の製作を行いました。1組は作品が完成し、都内で行われた展示会にて公開されました。注目度の高いクリエイターとの協働であったため、展示会は多くのメディアで紹介され、協働作品に対しても高い評価をいただくことができました。もう1組は海外デザイナー協働し、海外のギャラリーで展示を予定しています。展示に向けて、試作品の製作を進行しています。いずれも、複数の京仏壇・京仏具の職人が携わり製作したものです。</p> <p>(2) 協働実績や職人を紹介するWEBページを作成。協業作品から職人紹介へ誘導できる形式としました。職人紹介では、各職種の仕事を写真とともに紹介し、よりわかりやすい構成としています。また、今後の海外へ向けた展開も踏まえ、バイリンガル化を行いました。</p>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・海外デザイナーとの協働発表を2022年に予定しています。試作品製作を進行し、デザイン確定、展示品の製作を行います。 ・本格事業化に向けて、積極的にクリエイターを京都に招致し、技術の活用機会を増やしていきます。 ・本事業は他の仏具関係者とも協働できると考えており、こうした他分野への技術応用の広がりが京都の仏具職人の仕事を増やし、結果的に技術を守り、育て、継承していくこと、将来の後継者育成に繋がるものと考えています。